

Q 手術創はいつまで 創部の被覆が必要？

A 基本的に術後 48 時間以降は必ずしも被覆する必要はありません。

* 被膜する必要が無い根拠は？

手術により一期的に閉鎖した切開創は、術後 48 時間で上皮化します。手術創の治癒過程は、(表 1)のようになります。48 時間以降、創部を覆うべきかどうか、また被覆なしでシャワーや入浴を行う適切な時期について明確なエビデンスはありません。しかし、上皮化した創部は基本的にドレッシングによる被覆は必要なく、抜糸や抜鉤まで開放で問題ありません。ただし、傷が衣服でこすれて痛みが生じたり、その他の理由で患者が保護を望む場合には創部を覆ってもかまいません。

表1 手術創の治癒過程

①一次治癒創	手術縫合創は、感染などの治癒を傷害する因子が生じなければ上皮の離開はほとんどなく、最小の肉芽形成、瘢痕形成で治癒する。
②二次治療創	感染の存在などによって上皮の離開が自然に生じて開放創となることもあるが、膿瘍のドレナージのために意図的に創を開放することもある。この開放創のまま管理すると増殖期の肉芽形成に続いて組織の収縮が生じ、瘢痕組織として創が変形して治癒する。
③三次治療創 (遷延一次創)	感染が制御され、肉芽形成された時点で再び開放創を閉鎖すると、その後の治癒過程が短縮され、瘢痕が少なく変形の少ない創となって治癒する。

小山勇：創傷治癒のメカニズムと創傷管理：周術期感染管理テキスト，日本外科感染症学会，診断と治療社，東京，2012：12. より引用

* 術後 48 時間以降も感染に注意

ドレッシング材で被覆する場合もしない場合も、発赤などの感染徴候を見逃さないよう皮膚の観察は重要です(図 1)。術後創の治癒遅延の原因は、患者の基礎疾患(糖尿病、肝疾患、低栄養)などの全身的因子もありますが、局所的因子の 1 つとして「感染」が挙げられます。



図 1 手術創の観察

術後は、発汗や血液汚染などの有機物で皮膚は汚れやすい状態となっています。皮膚の清潔を保つためにも、術後 48 時間以降は微温湯や温めた生理食塩水などによる物理的な洗浄は効果的です。

術後創のケア（抜糸せずに退院する場合）

国立がん研究センター

1. 創傷治癒の過程

一般的な手術創は、縫合してから 48 時間でつき始め、創が完全に治癒するまでに 1 年程度かかります。治癒の過程は、炎症期・増殖期・成熟期の 3 期に分かれます。

1) 炎症期（3 日間）

創に残った細菌や死んだ細胞を除去し、新しい組織ができるように創を清浄化する時期です。

2) 増殖期（3 週間）

新しい組織（肉芽）が形成され、創の強度が増大していく時期です。

3) 成熟期（3 週間から 1 年以上）

新しい組織が補整され、強化される時期です。創の強度は、1 週間では正常の 10%、3 週間で 20%、最終的には、80%にまで回復します。

2. ケアの実際

退院時の創には、消毒が必要でない場合と必要な場合があります。退院時に医師・看護師から説明がありますので、指導内容を守りましょう。また、消毒の必要の有無に関わらず、1 日 1 回は創の観察を行ってください。退院になっても創は治癒の過程の途中であり、悪化する可能性もあります。赤み、腫れ、痛みが増強したり、浸出液が出たり、また高熱が出たり、退院時からあった浸出液の量が増えたり、色が濁ったり、臭いが出てきた場合は、創の状態が悪化している可能性があります。医師に連絡をとり、相談してください。

1) 消毒が不要な場合

抜糸されていなくても、入浴は可能です。創は厚みのある泡でやさしく撫でるように洗浄し、その後十分に石鹼分を洗い流し、きれいなタオルで押さえ拭きします。問題なければ、次の外来で抜糸になります。抜糸後は痂皮（かさぶた）が残りますが、引っ張ったりせずに自然に取れるのを待ちます。

2) 消毒が必要な場合

消毒は、1日1回は行ってください。浸出液が多く、ガーゼの上層まで汚染されるときには、さらに消毒する回数を増やすことが必要です。

<必要物品>

消毒液付き滅菌綿棒・滅菌ガーゼ・低刺激テープ

<手順>

手をハンドソープで洗浄し、流水でよくすすぎきれいにします。

テープをゆっくり丁寧にはがし、ガーゼを除去します。創にガーゼがくっついた場合は、消毒液を染込ませてからしばらく待ち、そっとガーゼをはがすと取れます。シャワーが可能なら、お湯をかけてふやかすと取れやすいです。

消毒液付き綿棒で、創の中心から外側に向かって「の」の字を書くように消毒します。

一度使った綿棒で、再度創を触らないでください。綿棒についての細菌を、創に付けてしまう可能性があります。また、一度使用した綿棒を消毒液につけると消毒液が不潔になります。

創にガーゼを当てます。

ガーゼは滅菌されているので、袋から出したら、創に当たる面は他の物に触れたりしないようにしてください。

テープはガーゼの中央に貼ってから、両端均等に、力を加えず貼ります。テープを貼ってガーゼがはがれないように固定します。

※入浴やシャワーは基本的には可能です。状態によっては防水フィルムが必要なときもありますので、退院時の指導に従ってください。

以上に記した内容は、あくまで一般的なものです。実際は、創の状態によって必要物品・方法なども変わってきますので、担当医師・看護師の指示に従ってください。